

# 長和の風

■発行と編集/  
長和町役場  
建設水道課  
TEL 0268-68-3111  
FAX 0268-68-4011  
平成 25 年 7 月 発行

## 古町豊受大神宮の式年遷宮について

しきねんせんぐう  
本年は古町豊受大神宮の第33回式年遷宮の年にあたり、すでに関連諸行事が着々と執り行われています。  
今回は、この古町豊受大神宮の式年遷宮についてご紹介します。



【式年遷宮の起源】

遷宮とは、神社の正殿を造営修理する際や、正殿を新たに建てた場合に御神体を遷すことをいい、また、式年とは、定められた年という意味があります。

古町豊受大神宮の本宮である伊勢神宮では、持統天皇の時代から二十年毎(式年)に、遷宮が行われ、今年が第62回目にあたります。

古町豊受大神宮でも、伊勢神宮にならって二十年毎に遷宮が行われ、今年が第33回目として伝えられています。その起源は詳らかではありませんが、明治35年(1902)に作成された「無格社豊受社御由緒調査書」の社伝のなかの「古老ノ伝説」として、「仁治2年(1241)海野小太郎幸恒、勅命ヲ蒙リ逆徒征伐ノ際、伊勢大神宮ニ祈願ス(中略)洲ノ濱ト云紋ヲ附戦地ニ向テ大イニ勝利ヲ得テ信濃守ニ任ス、当社モ幸恒ノ敬神ニ依リテ其当時ヨリ遷宮ヲ始ムト伝承ス」と記されています。

前回、第32回遷宮記念誌歴史編では、この伝承に基づき論考がなされて、式年遷宮の起源として、「鎌倉時代に小泉地域の雄として繁栄した海野氏の庇護のもとで始まったと考えられる。」としています。本稿では、紙面のスペースと時間の都合上、これを検証することは適いませんが、式年遷宮の起源を探るには、後述する依田庄の開発領主である依田氏や、鎌倉幕府の御家人である有坂郷(古町一帯)を

所領とした有坂氏との関連を含め、小泉地域における平安時代中頃から室町時代にかけての丹念な調査研究が必要であるものと考えます。

【豊受大神宮とおたや】

古町にいつ頃、豊受大神宮が勧請されたのかも詳らかではありませんが、先述の「御由緒調査書」の社伝には、平安時代初期の承和元年(834)に、「当依田ノ庄(斎宮)ノ御領地トナリ其当時伊勢度会郡山田ヨリ当長窪ノ里ノ五十鈴原ニ分離鎮メ奉リシト伝承ス」と記されています。

斎宮とは、天皇に代わって伊勢神宮に奉仕した未婚の皇女である斎王(註1)や、或は、その御所をさします。

御由緒調査書では、「承和元年に依田庄(依田窪地域)が斎宮の寄進領となつた際、伊勢神宮外宮の豊受大神宮を長窪(古町)に分社したものであると伝承されている。」となります。

しかしながら、依田庄の名が文献上に登場するのは、これよりかなり後年の鎌倉時代初期、文治2年(1186)の「吾妻鑑」に、「前斎院御領依田庄」と記されているのが初見とされます。

斎院とは、京の賀茂神社に奉仕した未婚の皇女である斎王、或はその御所のことをいいます。

前斎院とは、後白河天皇の第三皇女である式子内親王とする説や、鳥羽天皇の第七皇女である頰子

内親王とする説がありますが、依田庄をはじめ後白河院領か鳥羽上皇領であったものが、斎院領となったものと考えられます。

御由緒調査書に伝承される伊勢神宮に奉仕した斎王(斎宮)と、賀茂神社に奉仕した斎王(斎院)について、時代が経つにつれて混沌とし、伝承された可能性もあるものと思われれます。

伊勢神宮は、本来、皇室の氏神とされ、一般庶民の参拝を禁じていましたが、中世以降緩和され、南北朝時代以降、御師によって、地方への信仰に努めたため、在地領主等によつて各地に伊勢社(明神社・大神宮)が勧請されるようになります。

さらに、御師が大麻(神札)や曆を配り、布教のため巡回する際の宿泊施設である旅屋が各地につくられます。旅屋は、神聖な場所とされるようになり、後には旅屋のある伊勢社の例祭を「おたや祭り」と呼ぶようになります。

古町地域は、鎌倉時代は「有坂郷」として、現在の有坂地区がその中心地でしたが、室町時代中頃に長窪城が築城されると、その根小屋集落(城下町)である北古屋に伊勢社が勧請され、後に、集落が依田川の対岸へと拡張したことにより、現在地に旅屋が設けられたものと考えられ、さらに、この旅屋が伊勢神宮外宮の御師の旅屋

であったため豊受大神宮が勧請されたものと推測されています。

古町豊受大神宮の旅屋は、御師福島鳥羽大夫の受宮で、毎年暮れには手代数人をともない、大麻や曆を崇敬者に配布しています。

旅屋については、戦国時代以前の古い記録は確認されていませんが、江戸時代初期の寛永7年(1630)の検地帳には「しんめい下」「みやかいと」といった地名が記されていて、豊受大神宮は当時、神明社と呼ばれていたようです。

また、江戸時代中頃の延享元年(1744)の「古町明細帳」には、「伊勢旅家屋敷」の記載があり、一般にはこの頃から「おたやさん」と呼ばれるようになったと推測されます。

さて、古町立岩と上田市腰越の境にあり中世の城郭でもある鳥羽山の山頂には、ひとつの石碑が残され、南側を向く正面に「鳥羽氏先世墓址」、左側に「孝孫從四位下度会神主末濟建」、左側に「宝曆四年春三月」と刻まれています。

この石碑は、江戸時代中頃の宝暦四年(1754)に、伊勢外宮の御師福島鳥羽大夫が、先祖の芦田氏(依田氏)重臣で福島氏の居城と伝えられる鳥羽山城跡に建てたものです。

何故、芦田氏の家臣であった福島氏が伊勢外宮の御師となったのか、或は、御師であった福島氏が芦田氏の家臣となったのか定かではありませんが、まじかに意外な接点があり、時代背景とともに丹念に調査できればと考えています。

〔遷宮諸行事について〕  
遷宮には様々な諸行事があり、今回の日程とともに以下に様子を記します。

○斧入式／平成25年2月17日(日)  
遷宮のご用材を伐りはじめの祭りです。この斧入式により遷宮が始まります。

○下遷宮祭／4月28日(日)  
本殿の改修前に御神体を遷す祭事で、御神体が入る目に触れることのないよう夜間周囲の灯りを消して行われます。

○安全祈願祭／5月26日(日)  
本殿、鳥居、注連掛木の解体作業の安全を祈願します。

○注連掛木曳付建立／8月25日(日)  
伐り出した注連掛木を古町の上方と下方から、消防団員が中心となつて曳き出し、建立します。

○遷宮祭／10月19日(土)  
下遷宮祭により一時的に遷つていた御神体を新宮に遷す祭事で、下遷宮と同様に夜間周囲の灯りを消して行われます。

○奉祝大祭／10月20日(日)  
稚児行列、宝物行列などのおねりを繰り出し、遷宮を祝う祭事で、千人を超える参加者が予定されています。

古式にのっとり20年に一度行われる盛大なお祭りです。これから行われる諸行事に是非お出かけください。  
(文責)長和町教育委員会文化財係 勝見謙

2013

# 学者村季節バスの運行表

「立科町芦田行き」と「長和町古町行き」の学者村季節バス(10人乗りワゴン車)を運行いたします。ご不明な点などは、学者村総合管理センター(Tel.0268-68-2906)までお問い合わせください。

## 古町線 運行期間

8月1日(木)～8月18日(日)【※毎日運行】  
5月7日(火)～7月30日(火) )【※毎週火・木・土曜日運行】  
8月20日(火)～12月14日(土)

行き▶総合管理センター発(8時25分) → 1期山の家 → 3期管理事務所 → 長窪古町駅着(8時50分) → やすらぎの湯着(8時55分)

【接続】JRバス：上田行き  
『長窪古町駅発(9時05分)』→『上田駅着(9時52分)』

帰り▶やすらぎの湯発(13時20分) → 長窪古町駅発(13時25分) → 3期管理事務所発(13時30分) → 1期山の家 → 総合管理センター着(13時40分)

【接続】JRバス：上和田行き  
『上田駅(12時40分発)』→『長窪古町駅(13時25分着)』

利用料金は  
1回100円  
です。

## 運行期間 芦田線

8月1日(木)～8月18日(日)【※毎日運行】  
5月7日(火)～7月30日(火) )【※毎週火・木・土曜日運行】  
8月20日(火)～12月14日(土)

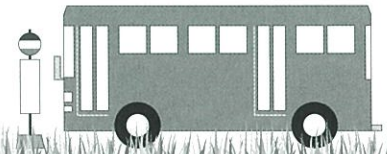
行き▶3期管理事務所発(9時25分) → 1期山の家 → 総合管理センター(9時35分) → 立科町役場前着(9時45分) → ツルヤ着(9時50分)

【接続】千曲バス：岩村田行き  
『立科町役場前発(9時50分)』→『佐久平駅着(10時29分)』

帰り▶ツルヤ発(12時45分) → 立科町役場前発(12時50分) → 総合管理センター発(13時00分) → 1期山の家 → 3期管理事務所着(13時10分)

【接続】千曲バス：芦田行き  
『佐久平駅発(11時51分)』→『蓼科町役場前着(12時29分)』

★季節バスは、上記の出発地と到着地の経路の間であれば、手を上げていただければ停めて乗車することができます。



## 学者村

## イベント案内

# 学者村祭り

日時▶平成25年 8月3日(土) 午後3時～  
場所▶学者村第1期 山の家広場(予定)

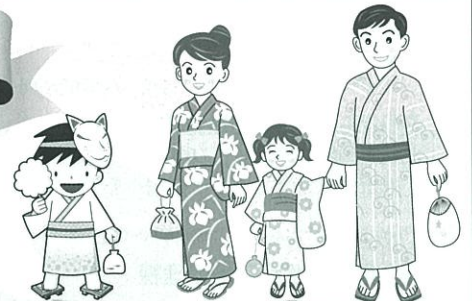
「学者村祭り」運営ボランティア・  
ステージ出演者の募集

毎年8月の第1週土曜日に開催されております学者村祭りについて、様々な人との出会いや交流を図り、別荘地の住民参画イベントとして定着することを目的に、当日の運営と一緒に協力いただけるボランティアの方を募集いたします。

また、お祭りで演奏や舞踊などステージを盛り上げて頂ける出演者を募集いたします。

詳細については、学者村総合管理センター(Tel.0268-68-2906)までお問い合わせください。

問い合わせ先▶学者村総合管理センター ☎0268-68-2906



## 美し松

# 美し松祭り

日時▶平成25年 8月10日(土)  
午後4時～

場所▶美し松管理事務所前広場

フリーマーケット・模擬店の  
参加者を募集しています。

ご協力いただける方は、美し松管理事務所  
(Tel.0268-69-2732) までご連絡ください。

問い合わせ先▶美し松管理事務所 ☎0268-69-2732

# 区画内立木の整備について

長和町の別荘地も開発から40年が過ぎました。別荘の経過と共に、樹木も40年かけて成長してきました。大きくなった樹木は風や雪の影響を受けやすく、折れたり倒れたりする危険性を持ち合わせています。立木は別荘地をお持ちの皆さんの所有物です。折れたり倒れたりして隣接する区画に被害があれば補償しなければなりません。



実際、隣接する区画に倒れた木がその区画の家の屋根を破損してしまったり、ガラスを割ったりといったこともあります。その際、倒れた木の処分と、破損した屋根の修繕費と経費がかかっています。そうならないためにも、別荘へお越しの際は、自分の区画内がどのような状況か確認して頂き、必要であれば整備をお願いします。自分で判断できないものは各管理事務所にご相談ください。

# 別荘地の水

長和町の水の源（原水）は全て地下水です。

地下水は「湧水」と「井戸水」の2種類に分けられます。

「湧水」とは、地下水が地表に自然に湧き出てくる水。

「井戸水」は、地下水を人工的に地表に汲み上げる水を言います。

学者村は第2期の下にある、大呂出という沢に井戸を掘り、そこからポンプで第2期の上にある配水池まで水を汲み上げ水道水にしています。

美し松は、大門川の横に湧水があり、その水を美し松の一番上の配水池まで、ポンプで汲み上げています。

美ヶ原高原郷は、別荘地の上に湧水がありその水を配水池に貯めて自然流下で送っています。ふれあいの郷は、井戸を掘りポンプで水を上げているのが現状です。

— 皆さんにお願いです —

今年は、梅雨に入ってから雨が降りません。地下水にも何かと影響があるかもしれない心配と、水道水にするために電気を使っていることをご理解いただき、節水を中心にかけていただければ幸いです。



# 今年は火災が増えています。

今年は例年になく風の強い日が多いように思います。県内でも、春先には相次いで火災が発生しました。お隣諏訪市では、毎年恒例の野焼きで、風にあおられ防火帯を越えてしまい大火事になりました。

この上小管内でも例外でなく火災が増えていきます。別荘地は山の中であり、これからは緑が濃くなるので火災もそんなと思うかもしれません。雨が少なく地面が乾いていることも十分に注意しましょう。

ちよつとしたことから大火事になってしまいう危険を持っていますので火の取扱いは十分注意しましょう。

## 「野焼き」は法律違反

廃棄物処理法において、「何人も廃棄物を焼却してはならない。これに違反した場合は5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する。」と定められています。

● 次の場合は例外として野外焼却（野焼き）が認められています。

- ・「どんど焼き」など風習として行われる場合
  - ・稲わら・果樹の伐採した焼却、土手焼きなど、農林業を営むためにやむを得ない焼却
  - ・焚き火、庭木の焼却など軽微な焼却（軽微な焼却とは、煙の量や臭いなど近所の迷惑にならない程度の少量の焼却をいう）
- 注：野焼きをする場合は、事前に消防署へ連絡してください。

- ・ 消化できる準備をし、その場を離れないようにする。
- ・ 完全に消えたことを確認する。



# 薪の取扱い

● 学者村管理事務所では：  
学者村管理事務所では薪は販売いたしません。  
薪の購入については、管理事務所まで業者の紹介はいたしておりますので、必要であればお問い合わせください。

● 赤松の薪は、燃焼温度が高く普通のストーブではストーブがだめになってしまいます。あくまでもイベントなどで利用するものですので、ご承知ください。

● 美し松、ふれあいの郷、美ヶ原高原郷では：  
管理事務所では業者の紹介をいたしますのでお問い合わせください。

## 編集後記

今年は20年に一度の豊受大神宮正遷宮祭の年。学者村に隣接する土地から御柱を切り出しました。私も地元古町の消防団の分団長としてお祭りに係わっていきますが、何時もになく行事が多い年です。ここ最近の暑い気象条件など体にも厳しい状態ですが、暑さに負けず頑張ってお祭りに打ち込みたいと思います。正遷宮祭是非ご覧ください。

### 長和町役場(長門庁舎)建設水道課別荘係

☎0268(68)3111 / ☎0268(68)4011  
● ホームページ  
<http://www.villanagawa-nagano.com>

### 学者村総合管理センター

☎0268(68)2906 / ☎0268(68)2191  
● メールアドレス  
gakushamura@villanagawa-nagano.com

### 美し松ハイランド管理事務所

☎0268(69)2732 / ☎0268(69)2732  
※ 事務所が休みの日は役場へ転送  
● メールアドレス  
utsukushimatsu@villanagawa-nagano.com

### ふれあいの郷別荘地管理事務所

☎0268(69)2541 / ☎電話と同じ  
※ 事務所が休みの日は役場へ転送  
● メールアドレス  
fureainosato@villanagawa-nagano.com

### 美ヶ原高原郷別荘地管理棟

☎0268(88)2167